



連携共通シート作成の取り組み(真庭市)

- 介護と医療の連携強化を目的に介護・医療・福祉・保健に関わる多職種の連携体制構築を支援。
- 平成20年度から実施
- 医療と介護の連携アンケート実施結果により、連携を深めるための共通シート連携に至った。
- 共通シート活用により必要な情報が迅速に簡潔に伝わりとともに、医師にケアマネジャー・本人・家族の考えが伝わりやすくなった。
- 平成21年度は共通シートの使い方周知、活用についての情報交換を行い、活用定着後は、在宅介護、口腔ケア等をテーマに開催。

平成20年度

□ アンケート実施・結果のまとめ



□ 第1回懇談会

- ・ アンケート結果報告
- ・ 先進地事例(尾道方式)の紹介
- ・ 意見交換



□ 第2回懇談会

- ・ 講演(医療と介護をすすめるために)
大田 仁史先生
- ・ 真庭共通シートの紹介
- ・ グループ討議・発表





(岡山県)

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	真庭市						
②人口（※1）	49,495人 ()						
③高齢化率（※1）	65歳以上 33.4% () 75歳以上 22.3%						
④取組の概要	介護と医療の連携強化を目的に介護・医療・福祉・保健に関わる多職種の連携体制構築を支援。						
⑤取組の特徴	医師会と介護支援専門員協会真庭支部が医療と介護の連携状況のアンケートを実施した結果、連携を深めるための共通シートを作成し活用する事になった。初年度第1回は、医師とケアマネのみの懇談会だったが、2回目以降は他の職種もメンバーに加わった。実際に共通シートを活用することにより、医師にケアマネ・家族・本人の考えも伝わりやすくなった。共通シート作成後は、事例検討や在宅介護・口腔ケア等毎年テーマを絞り行っている。						
⑥開始年度	平成20年度						
⑦取組のこれまでの経緯 ⑧主な利用者とな数	年度	内容	出席者				
			Dr	CM	MSW等	計	
	H20	第1回	先進地事例「尾道方式（介護・医療・認知症に関する）」の紹介Dr・CMアンケート結果報告、情報・意見交換	10	64	0	74
		第2回	講演「医療と介護の連携をすすめるために」大田仁史先生 県民局アンケート結果報告、『真庭共通シート』紹介、グループ討議	7	54	8	69
	H21	第1回	『真庭共通シート』使い方説明 シートの活用についてグループ討議			85	85
		第2回	『真庭共通シート』アンケート結果報告、活用事例の紹介、利用方法等について協議	4	42	17	63
	H22	第1回	連携事例の紹介（2事例） グループ討議（連携をとるために必要なこと他について		49	14	63
		第2回	共通シート利用事例・高齢者虐待連携事例の紹介、グループ討議	6	37	13	56
	H23	第1回	在宅介護を考える懇談会（訪問看護の利用について）、グループ討議	9	53	77	139
	H24	第1回	医師と多職種の懇談会（テーマ：口腔ケアについて）	10	37	31	76
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	(H24年度)実施主体：真庭市 共催：真庭市医師会 関連団体・組織：真庭市医師会、岡山県介護支援専門員真庭支部、医療機関・介護サービス提供事業所・老人福祉施設・老人保健施設						
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	関係団体間の連絡調整（開催通知、講師等への依頼等）						
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	なし						





⑫取組の課題	関係団体、組織、職種との連携をすすめてきたが全ての職種による懇談会は開催していない。多職種研修会の実施をどのようにすすめていくか。
⑬今後の取組予定	平成 25 年 5 月 29 日（水）19：00～21：00 平成 25 年度 医療と介護を考える～ 医師と多職種の懇談会 開催 「口腔ケアチェックシートの活用についての報告・グループワーク」
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	真庭市役所 健康福祉部 高齢者支援課（地域包括支援センター） 真庭市久世 2927-2 TEL (0867) 42-1079 FAX(0867)42-1390

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

